

予 算 要 求 資 料

令和7年度12月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名 飼料価格高騰対策緊急支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 酪農・飼料係 電話番号：058-272-1111(内4132)

E-mail : c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 1,189,363千円 (現計予算額： 247,162千円)

＜財源内訳＞

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
現 計 予算額	247,162	247,162	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	1,189,363	0	0	0	0	0	0	1,189,363
決定額	540,185	540,185	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

輸入が9割を占める配合飼料価格が高止まり、配合飼料価格安定基金による飼料代の補填額が減少し、畜産農家負担額が増加しており、畜産農家の経営に深刻な影響を及ぼしている。

また、補填制度のない粗飼料についても価格が高止まりしており、畜産農家の経営をさらに圧迫している。

このような中、再生産可能な畜産経営を維持するため、飼料価格高騰による生産者の負担を軽減する緊急的な支援が求められている。

(2) 事業内容

配合飼料の使用を削減する取組みメニューに取り組む畜産農家に対し、飼料給与量に応じ、奨励金を交付する。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率：定額

＜奨励金単価（価格高騰相当額の1/2）＞（3ヶ月分）

配合飼料：13,300円/t

粗飼料：8,300円/t

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,189,363	事業対象期間：令和7年度第3四半期 配合飼料：13,300円/t、粗飼料：8,300円/t
合計	1,189,363	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

財源については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

なし

(2) 国・他県の状況

国：配合飼料価格安定基金の補填反映後の飼料コスト急増を抑制する「新たな特例」を創設（R5）

他県：配合飼料等の価格高騰支援を本県と同様検討中

(3) 後年度の財政負担

緊急対策のため単年度とし、後年度の財政負担はない。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業実施主体：畜生生産者団体（岐阜県畜産協会、岐阜県酪農農業協同組合連合会）

妥当性：生産者の要望を迅速にとりまとめ、速やかに事業実施するに当たり、生産者と密接に関係している団体が適しており、事業実施主体として妥当である。

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	飼料価格高騰対策緊急支援事業費補助金
補助事業者（団体）	<p>畜産生産者団体（岐阜県畜産協会、岐阜県酪農農業協同組合連合会） (理由) 生産者に対して速やかに事業実施するに当たり、生産者と密接に関係している団体が適している。</p>
補助事業の概要	<p>(目的) 再生産可能な畜産経営を維持するため緊急避難的に支援する。</p> <p>(内容) 配合飼料の使用を削減する取組みを行う畜産農家に対し、飼料給与量に応じ、奨励金を交付する。</p>
補助率・補助単価等	<p>定額・定率・その他（例：人件費相当額） (内容) <奨励金単価（価格高騰相当額の1/2）> 配合飼料： 13,300円/t 粗飼料： 8,300円/t</p> <p>(理由) 配合飼料価格等は、飼料高騰前の令和2年度と比べ、直近のデータで、生産者の負担が配合飼料は約27,000円、粗飼料は約17,000円増加しているため、その1/2相当を支援する。</p>
補助効果	配合飼料の使用を削減する取組みを支援することで、飼料価格高騰の影響を緩和することができる。
終期の設定	<p>終期 令和7年度 (理由) 緊急対策のため</p>

(事業目標)

- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか
 配合飼料価格高騰の影響を緩和し、再生産可能な畜産経営を維持する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
		279,069	1,642,154	513,104	

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	輸入飼料原料の価格高騰の影響を緩和するため、配合飼料の使用量削減等に取組む農家に対し、支援を行った。 379事業者 279,069千円
令和5年度	輸入飼料原料の価格高騰の影響を緩和するため、配合飼料の使用量削減等に取組む農家に対し、支援を行った。 728事業者 1,642,154千円
令和6年度	輸入飼料原料の価格高騰の影響を緩和するため、配合飼料の使用量削減等に取組む農家に対し、支援を行った。 725事業者 513,104千円
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)	
3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	配合飼料、粗飼料ともに価格が高止まりとなっており、畜産農家の経営を圧迫している現状から、緊急支援の必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価) 2	飼料給与量に応じて奨励金を速やかに交付することで、飼料高騰影響の緩和が期待できる。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
緊急対策であるため、迅速な事業遂行が求められる。

(次年度の方向性)

事業	・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
緊急対策であるため、継続する予定はない。	